

科目名称	基礎英語Ⅱ B⑤		
担当教員	岡村 光浩		
授業形態	講義	区分名	コミュニケーション
単位数	1.0	年次	1
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照		
開講年度・学期	2017年度 後期	授業コード等	21506221
授業目的・方針	「読む・書く・聞く・話す」の4技能を総合的に訓練する。まず教材（クラスにより異なる）の英文を声に出して読む／パートナーと会話練習することで英語のリズムを体に覚え込ませる。読み物の部分では、基礎英文法を確認しつつ文意を的確に把握する練習をすると共に、本文聞き取りや音読を反復練習する。教材についての感想を英語で話したり書いたりする練習も行っていく。英語で情報をinputするための基礎力を鍛え、失敗を恐れずoutputする姿勢を身につけることを目標とするが、海外事情や文化についても、楽しみながら理解を深めてもらいたい。		
到達目標	英語で情報をinputするための基礎力を鍛え、失敗を恐れずoutputする姿勢を身につける。		
授業内容	1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2：Chapter 13 Vegetarianism<菜食主義> 3：Chapter14 LeftBrainversusRightBrain<右脳と左脳> 4：Chapter15 TheLifeCycleoftheSalmon<鮭の一生> 5：Chapter 16 GreenBuilding<グリーン・ビルディング> 6：Chapter 17 TheDakarRally<ダカール・ラリー> 7：Chapter18 SignLanguage<手話> 8：前半のまとめ 9：Chapter 19 TheAbuSimbelTemples<アブ・シンベル神殿> 10：Chapter 20 CentralBanks<中央銀行> 11：Chapter 21 TheNazcaLines<ナスカの地上絵> 12：Chapter 22 TheGreatPacificGarbagePatch<太平洋ゴミベルト> 13：Chapter 23 Uluru (AyersRock) <ウルル (エアーズ・ロック) > 14：Chapter 24 TheMarsRoverCuriosity<火星探査機?キュリオシティ> 15：まとめ		
授業時間外学習	中学・高校英語、特に基礎的な英文法と語彙を徹底的に復習しておくことが望ましい。		
評価方法	平常点（宿題・予習状況・受講姿勢）・小テスト／提出課題・定期試験により総合的に評価する。		
使用テキスト	『SupremeReading 2（スプリームリーディング2）』 宍戸真ほか著成美堂、2014年		
参考テキスト	『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）』、他に担当講師より指定、またはプリント等を配布する場合がある。		
各自準備物	英和／和英辞典（紙版推奨）：ジーニアス（大修館）・ウィズダム（三省堂）・プログレッシブ（小学館）等		
実習費			
その他	1. 基礎英語Ⅱの履修には基礎英語Ⅰの単位取得が必須である。 2. テキストは基礎英語ⅠB・ⅡBで同じものを継続使用する。十分予習した上で授業に臨むことは大前提である。 3. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。なお遅刻30分以上は欠席扱いとする。 4. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。その他詳細は各担当講師より指示する。 2015年度以降入学生は1単位、2014年度以前入学生は2単位の科目です。		